

(参考) 産学官連携功労者表彰について

(1) 産学官連携功労者表彰とは

・概要

企業、大学、公的研究機関等の産学官連携活動において、大きな成果を収め、あるいは先導的な取組を行う等、産学官連携活動の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その個人又は団体の功績を称えることで我が国の産学官連携活動の更なる進展に寄与することを目的として、内閣府が平成 15 年より実施。

・選考過程

関係省（総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省等）から推薦のあった事例について、①連携体制の特長・波及効果、②社会への貢献、③市場への貢献、④技術への貢献の観点から、選考委員会が各賞受賞にふさわしいと判断する事例を選考。関係府省及び団体がこの結果を経て、各賞の受賞者を決定。

・賞の種類（全 11 賞）

内閣総理大臣賞、科学技術政策担当大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、日本経済団体連合会会長賞、日本学術会議会長賞

(2) これまでの受賞履歴

平成 16 年度 産学官連携功労者表彰

科学技術政策担当大臣賞「モニュメント型風力発電機の開発」

受賞者：協同組合プロード代表理事 西村琢磨、福井大学教授 山本富士夫、
福井県工業技術センター